

フィリピンの方に向かっていることはわかっていました。
私と友達は荒波の中を交代交代で運転。ずっと月に向かって運転しました。いつ寝ちゃうかわからない。だから私も友だちも、二日間も三日間も、水だけ飲んで眠りませんでした。



フィリピンに救出されたときの貴重な写真。左端がミンさん

それで、フィリピンに無事着いたんですか？
いやいや。ベトナムとフィリピンの真ん中くらいでイギリスのタンカーに助けられました。助けられたときもまだ台風。昼間にいろんな船がこちちを見るから、SOSとか呼んだけど、みんな逃げちゃったんです。船との距離は500メートルくらいで、こちらのことよく見えてい

るはずだけど、私たちの船は男4人だから、多分海賊かと思われたみたいですよ(笑)。難民だったら子供や女性もいるはずですしね。だからみんな私たちを見て逃げちゃいました。それで、3日目の朝10時くらいに、シンガポールから日本へ向かうイギリスのタンカーに助けられました。私たちは2日間船にいて、3日目の朝10時くらいに助けられました。午前2時から私たちを発見していたと言われました。助けられたとき、船長はあと2日間フィリピンへ行けると言っていました。だから、真ん中くらいだったと思います。最初のマレーシアへ向かった2日間と次のフィリピンへ向かった3日間、全部で5日間船に乗っていました。

そのときは日本語ではなく英語を勉強しました。最初、私もアメリカに親戚がいるから、アメリカに難民申請していただきます。滋賀県の施設には難民が40人くらいいて、そのときはアメリカに行く人が多かったです。でもちょうど、私がアメリカに申請した後から日本政府の難民受け入れが始まった(※6)ので、やっぱり日本の方がいいって思ったんです。日本人とベトナム人は似ているから、道を歩いても誰もわからないけどアメリカに行ったら目立つと考えたこともあり

はい。日本への定住を決めたから、少し日本語を勉強しました。そのときには、日本政府は難民を受け入れる決定をしたから、先生が来てくれて勉強しました。その中に一人、中国系ベトナム人でベトナム語をべらべら話せる人がいて、私に漢字を教えてくださいました。日本の生活のマナーとかも勉強しましたね。日本語の勉強は、おもしろかったです。40人の中で30人くらいが日本への定住を決めました。私たち4人はみんな滋賀県にいました。みんな一緒。その後、私と弟だけ品川に行きました。友達一人は、直接定住(※7)しました。私の妻も直接定住した人です。

国際救援センターに行かないで直接



天理教日野ベトナム難民施設で。左下がミンさん



国際救援センターで。後列右から二番目がミンさん

深夜2時から発見されていたのに助けてもらえなかったんですか？
2時からリーダーで私たちの船が見えていたそうです。すぐに台風が来るから、最初は助けたくなかったみたいで、食料と羅針盤を渡してフィリピンの方向を教

えて自力でがんばるように言われました。でもそのときにベトナム語をしゃべった船員が一人いたんです。そうそう、彼は船のコックさんです。今は香港に住んでいるけど、昔はサイゴンで生活したことがあってベトナム語を片言で話す華僑でした。だから食料を私たちの船にくれたとき、彼は、「お前たちは何やってるの」って聞いてきました。ベトナム難民と答えたら「えっ、難民ですか。ちょっと待って」って。彼はイギリス人の船長に相談してくれて、そうしたら船長も「もう、しょうがないね。もうすぐ退職だから」って、助けてくれました。だから、そのコックさんは命の恩人です。それで、私たちは自分の船を捨てて、タンカーに登って助けてもらいました。本当に運が良かったんです。みんなからも運が良かったねと言われました。特に、ベトナム語をしゃべった人がいた、その人のおかげ。そのとき、助けられなかったら、どうなったかわからない。

それで、そのまま日本に来たのですか？
タンカーはシンガポールから千葉港へ行く途中だったから。すでに船は国連にも連絡していました。日本に着いた後はそのまま1週間くらい停泊してシンガポールと一緒に行くか、と聞かれました。

定住するという道もあるんですね。
はい。救援センターに行かないで、直接会社に勤めるとか、そのとき仕事があればね。私は日本語を勉強したかったから救援センターへ行っただけです。3ヶ月だけたけども勉強したかったですね。このとき救援センターには、何百人かいたと思います。

日本に来て一番違った習慣と何か、びっくりしたことってどういうことでしょうか？
違った習慣はたくさんありますが、例えば、ベトナムでは夜の生活が長いことですかね。仕事が終わってから遊びに行くとか、店の前でお酒飲むとか。(※8)ベトナムは夜が涼しいからみんな、夜に活動的ですね。昼間は仕事をしているけど、夕方はもっと元気。街でいろんなことがありますよ。

やっぱり、日本の夜は静かですか。ブラジル人からも同じことを聞いたことがあります。
静かです(笑)。日本では同じ団地にベトナム人だけでなくブラジル人も住んでいますね。ベトナムとブラジルの似ているところは、ベトナム人もブラジル人も夜活動的などころだと思えます。日本はとっても静か。

それに、オートバイもあまり多くないですね。警笛も日本ではピンピンと鳴らさないですね。ベトナムではよくあります。オートバイとか、ピンピンピンピン、もうしょっちゅう鳴らしますよ。うるさいですが、向こうの人は慣れてます(笑)。

シンガポールに行くか、日本に残るか、決まってる言われたんですね。
はい。国連の人たちは、偶然、日本に

来ただけでしょって。その助けてくれた船でシンガポールへ戻って、イギリスの政府がイギリスへ連れて行くか、または親戚がアメリカにいるなら、親戚の呼び寄せでアメリカへ行くかと聞かれました。でも、日本を選んだのは、運命だと思ったからですね。それで手続きしました。

日本がどういう国かというような知識はあったんですか？
千葉港に船が着く前に、私は船の一番高いところから日本の風景を見て、とても素晴らしいって思いました。当時は、オートバイのホンダとかヤマハといった名前くらいで、それ以外は日本のことはあんまり知らなかったですね。シンガポールのこともよく知りませんでした。

日本での生活(来日後後／品川)

日本での最初の生活の様子を教えてください。
港に着いてからは、難民関係の国連の方にインタビューを受けて、その後は滋賀県にある天理教日野ベトナム難民施設(※4)へ移動しました。それから難民生活は2年半くらいかな。今も覚えています。その後は品川国際救援センター(※5)で、3ヶ月間日本語や日本の習慣などを習いました。

滋賀県の難民施設ではどんなことをしたんですか？
品川の国際救援センターを出た後はどうされたんですか？
救援センターで友達ができて、その友達が浜松の難民施設にいたことを聞ききました。愛光寮(※9)です。それで彼らに会社を紹介してもらい、1984年か85年頃に、私も浜松に定住することになりました。

日本での生活(浜松)

品川の国際救援センターを出た後はどうされたんですか？
救援センターで友達ができて、その友達が浜松の難民施設にいたことを聞き

ました。愛光寮(※9)です。それで彼らに会社を紹介してもらい、1984年か85年頃に、私も浜松に定住することになりました。仕事を探すのは救援センターの仲介や友達からの紹介で、救援センターが直接会社と連絡を取ってくれました。住むところは最初、アパートでした。会社の社長がとってもいい人だったから、いろいろ紹介してくれて助かりました。会社は三方原にある車部品の製造会社でした。ベトナム人は、私と弟と、もうひとりの3人かな。他の会社にもベトナム人がいました。三方原とか、高丘とか、葵町とかに住んでいましたね。でもそのときはまだ人数は少なかったですね。

日本に来て3年後くらいに浜松にいらしたんですね。浜松に来やすかったのはどうしてでしょうか？難民施設の愛光寮があったからでしょうか？
それだけではないです。私たちを支援してくれる人がいたからだと思います。当時、浜松に直接定住した人の家族が二家族あります。それと私たちと全部で大体3、40人くらいかな。そのとき浜松にいたのは。

私たちは浜松に来てから、最初、支援者の一人の古橋楓(※10)さんにいろんな